

つき立てが 美味しいね



お餅の雑学

今年もあと2ヶ月…、『お餅』って、年末・年始にいただく機会が多いですね。お餅のことを調べてみると、意外と知られていない雑学があることに気がきました♪来月のシンカ『おもちつき大会』の前に、雑学を調べてみました。皆さんはどのくらい知ってますか?!



餅の語源

古くは粘りのある飯という意味で「モチヒ」又は「モチイヒ」と呼んでいた説や、腹にもたれるという意味の持飯(餅いい)、携帯に便利であるから持飯と呼ばれたとも考えられています。

もち米 vs うるち米

中国から渡来して日本で最初に作られた米はウルチ米ではなく「もち米」。後から遅れて伝わりましたが、ウルチ米の栽培の方が日本の気候風土に適していた為、結局ウルチ米の方が普及。そのため、もち米はおめでたい時の行事食として作られるようになりました。



うさぎと餅つき

月の表面は、いろいろなものの形に見たてられてきたのは言うまでもありませんが、古代インドの昔話に月のうさぎが現われていることから、その古さが伺い知れます。中国では月うさぎは仙薬をついているとされ、うさぎが餅をついているとしたのは日本人だそうです。



赤飯

小豆ともち米を混ぜて蒸し上げるお赤飯。日本人の祝い事にはかかせません。しかし、赤色が魔力を秘め不幸の厄払いをするという解釈で、その昔は葬式などの凶事にお赤飯が用いられていたそうです



丸餅・角餅

お雑煮の主役 = お餅。
大ざっぱに言っ
て西日本は丸
餅、東日本は角
餅文化となっ
ています



新・スタッフ紹介



はじめまして。2014年7月からシンカのメンバーに加わった池本 佳央梨(いけもと かおり)です。経理・総務のお仕事を担当させていただきます。

前職は、美容業でした。

全くの異業種ですが、お客様の理想のデザイン・スタイルに近づける…という部分では、家づくりと似ているのかもしれないですね。

学生時代は高浜にずっと住んでいました。大人になって高浜に戻ってみて、子供の頃は興味をもつ事もなかった高浜の歴史や産業、地域の活動について知る機会が多々あり、興味深々です。

シンカで働きながら自分自身を成長させつつ、皆様に情報を発信するお手伝いのできたらいいなあと思っております。これからよろしくお願いたします。



2014感謝 もちつき 大会

今年で5回目!!

ワークショップ
只今企画中!

お餅をついて
みませんか?
●
お子様大歓迎

予告

場所:シンカDesign Labo

2014.12.21(日) 10:00~14:00

いつもC-TANK新聞並びに、シンカをご愛顧頂きありがとうございます。さて、昨年約300人の皆様にご参加頂いた『もちつき大会』、今年も開催が決定しました。いつもシンカを応援して頂ける皆様への感謝を込めて、12月21日(日)に行ないます。詳細は、来月号にてお知らせしますので、ご近所お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。

お待ちしております。



●Eさんの家●

『高浜市』

●素敵な家が完成しましたね。

いつか家を建てる事になっても困らないように、友人と見学会に参加していたんです。基本知識を収集したり、間取りを見てまわったり。

縁あって高浜で家を建てることになり、いろんな要望をしましたね。1番は主人のDJブース。あとは、各フロアを1周できるようにした動線、1Fの収納など。大工さんが工事途中で、私たちが気づかない部分にアドバイスをくれたことは有り難かったですね。変更の要望も結構ありましたが、シンカさんは全て対応してくれました。面倒なことも古田さんに言いましたが、そうしてよかったなあと思っています。

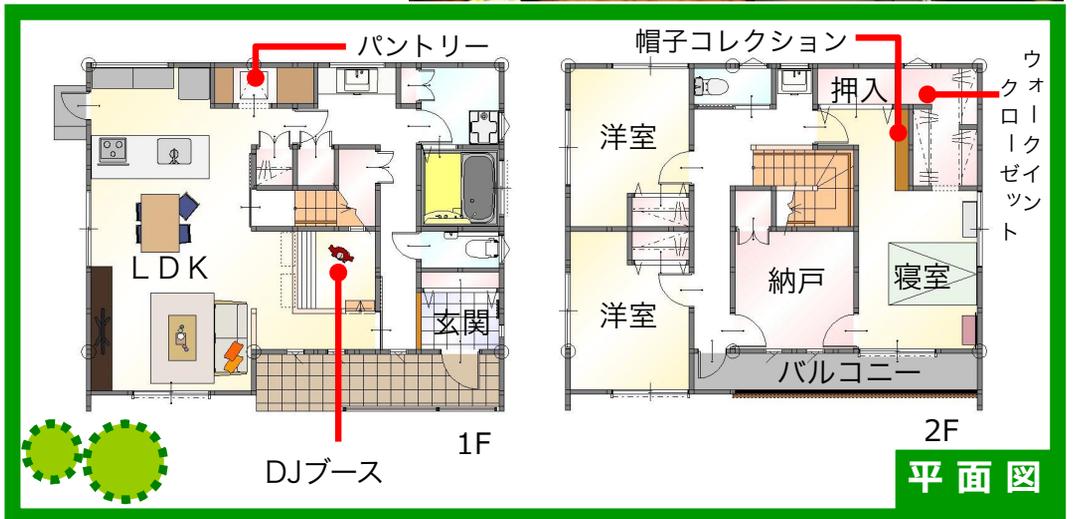
完成するまで、どんな内観になるかちょっと不安でしたがいい感じになりましたね。住み心地いいですよ。ありがとうございました。



↑リビングにとけ込んでいるDJブースがとってもお洒落♪将来は子供達と親子でDJですね(。ω。)



↑寝室の入り口には、ご夫婦が趣味にされている帽子コレクションの棚があります♪



●Fさんの小屋●

『高浜市』

●自分だけの空間って、いいですね。

札幌時計台のイメージというか、北海道にある小屋のイメージというか…。庭に木を植えたり、花の手入れをするなかで、木造小屋っぽいがほしかったんです。娘の友達つながりで、営業の藤岡さんとは家族ぐるみのお付き合い。真っ先に、藤岡さんの顔が浮かび、この『自分スペース』の相談をしたのが始まりですね。

要望は、小屋だけど『壁も窓もドアも全部木で作りたい!』でした。一番のこだわりは『よい張り』の外壁でした。監督さんがとっても勘のいい方で、私の考えを具現化し、何回もやり取りしてくれましたね。

小屋が完成してから、自分でいろいろと手を加えています。これもなかなか楽しいですよ。端材を残してもらったので、それで棚を作ったり、机も自分で色を塗ったりして。この小屋がだんだん庭に溶け込んできました。ここで庭の木々の音や鳥の鳴き声をきくのも、いいものですね。いろいろとありがとうございました。



お施主さま(左)と藤岡

ゆっくりと時間が流れる空間ですね…。一緒に施工させて頂いた自転車置き場→門扉・ポスト↓においても、母屋とのバランスを配慮しました。

